

第4回金沢市宿泊税条例施行後の状況に関する調査検討会議 議事録

■日 時 令和6年1月23日（火）10時00分～10時45分

■場 所 金沢市役所 第二本庁舎3階 第1研修室

■出席委員 佐無田座長、庄田委員、浜崎委員、水野委員

■次 第 1 開 会

2 議事

(1) 報告事項

①第3回検討会議での主な意見と対応方針 【資料1】

②金沢市議会総務常任委員会での主な意見 【資料2】

(2) 意見交換

報告書（案） 【資料3】

3 閉会

■会議内容

1 開 会

【座 長】

1月1日に能登半島地震で大変な被害が出た。皆様のご関係の方々にも影響を受けられた方、被害に遭われた方、それに復旧支援に尽力されている方、いらっしゃるかと思う。まずは心よりお見舞い申し上げます。

今日は最後の宿泊税検討会議ということで、1年間ご協力いただき感謝している。前回、大きな筋として方向性を決めましたが、今回はその方向性に従って報告書を作成するに当たり、細かい文言のところを含め、確認をいただきたい。まず、報告事項として資料1 第3回検討会議での主な意見と方向性、資料2 金沢市議会総務常任委員会での主な意見について、事務局から説明をお願いします。

2 議事

(1) 報告事項

【事務局】

〔資料1～資料2 説明〕

【座 長】

ただいまの報告について、意見や質問があるか。

【D委員】

資料1の税率についての意見について、新幹線による税収増が期待できるとあるが、一方、能登半島地震について書いていないのが気になっており、新幹線の延伸は長期的に観光増を期待できるが、能登半島地震については短期的な減少があるのではないかと。能登半島地震による減収も入れた方が、この時点での報告書としては良いのではないかと。

【事務局】

今説明したのは、前回12月の第3回検討会議でいただいたご意見である。後ほど説明する報告書の案では触れているため、改めてご説明する。

【C委員】 能登の震災がなかった時点での検討会議だったが、今、震災があった後のことを思うと、復興支援で多くの方が仕事の関係で来られると思うが、そういった人たちからこれまでどおり宿泊税をいただくのは、目的と違うところがある。支援の仕事で来ている方に対して宿泊税を徴収するというのは、どうなのか。結果として、5,000円未満は免税した方がこれからは良いのではないか。

【A委員】 D委員から話のあった、地震の状況、被害をどう見るかということだが、現在、金沢市のまとめによると、宿泊のキャンセルが26,000人出ている。一方で支援団体、つまり自衛隊、行政関係者、保険関係の調査員、電力関係の方々が宿泊されている。これに加えて、避難者の2次避難所の利用として、10,000円で1泊3食税込みの価格で対応している。我々としてはそういう方々を、できるだけ心からもてなしをしようということで、結構頑張って3食の食事を出している。そのような状況で、宿泊人数をキャンセルと合わせると、確かにキャンセルより4割から5割入ってくる。ただ、入ってこなくなる風評被害の数が見えない。結局推測する見方となるため、この状況をどう見るかはまだわからない。

その上で、直接被害として、宿泊のキャンセルほか、大打撃が起きているのは宴会である。1月は8割、2月は6割がキャンセルという状況で、ほぼ止まりつつある。3月15日辺りまで大なり小なりキャンセルが続く。宴会の売り上げは、宿泊よりも大きいので、全体の売上で見ると平常時よりは少ないという影響が出ている。

我々とする、どこまでどう続いていくのかという想定は段階であり、実務担当者としての想定でいくと、ホップ・ステップ・ジャンプと3つの捉え方をする。今日の新聞に出ていたように、3月・4月に旅行割が実施されることで、3月16日の北陸新幹線敦賀延伸を契機に風評被害の払拭を訴える。そして旅行割を活用することで、ゴールデンウィークまでが最初の一段階。次はステップの段階として、ゴールデンウィークが1つの山場となる。去年の5月5日にあった能登地震の場合は、影響が5月から9月まで5か月間続いた。今年もそういう見方をすると、これより規模が大きい、もう少し長く続くかもしれないが、昨年並みであればゴールデンウィーク辺りまでに、一通り終えたいという希望的観測である。ゴールデンウィークを契機として、平常化を図っていく。次に10月、ジャンプの段階であるが、10月にご存じのとおり北陸新幹線県内全線開業を見据えてのデスティネーションキャンペーンが10月から12月まで続く。これで反転攻勢、従来に戻り、なおかつこれまでの負の遺産をそこで解決したい。背景にはC委員がおっしゃるように復興支援関係の方々がどういう動きをされるかカバーしながら、反転攻勢に出たいというのが、今年1年間の我々の考え方である。そういった考え方に基づいて予算運用し、対策を立てている。

我々とする、社会活動、そして経済活動を回して行かないと駄目だということをお互い願っている。先般、金沢ホテル懇話会にて各ホテルの総支配人、営業責任者、金沢コンベンションビューローの専務理事、金沢市観光協会の副理事長など16人の編成で台湾へ誘客セールスを予定していたが、この地震が起きたために、我々総支配人、社長は留守番。実働部隊を台湾へ行かせるかどうか非常に悩んだ。台湾から、石川県の被害状況、現在の状況を伝えて欲しいと強い要請があり、6人のメンバーに絞り込んで、今月17日から20日まで3泊4日で台湾へ行ってき

【A委員】(つづき) た。台湾は、ご存じのとおり3月から春節であるとか、もしくは4月、5月の雪の大谷を目掛けて、台湾の方が一番たくさん来られる時期で3月後半から4月、5月、かなり台湾からの予約が入っている。これがキャンセルになるか心配していたが、今のところキャンセル無しである。台湾の方々は、石川県のことをご存知で、能登半島と金沢・加賀地区とはかなり離れていると。だから能登はそうであっても金沢、加賀地区は大丈夫ということを理解されている。よって能登に入っていくもの、和倉温泉は全部キャンセル、これは致し方ないが、金沢へは全面的に支援する、積極的にいきたいと。正式に調べてはいないが、10数億にわたる支援金や給付金を出していただいております、非常に好意的である。4月、5月は台湾を中心にインバウンドに重きを置いた見通しをしている。ただ、欧米系はぽつぽつとキャンセルが出始めている。欧米から見ると北陸は一つに見えて、能登も金沢も隣みたいな感覚で捉えているため、欧米関係はキャンセルとなっている。そこに対して、我々は状況をきめ細かく、積極的に発信をしているので、行政の方々も含めて、そのような情報発信に力をいただきたい。

【座長】 とても状況がわかり、参考になる。

【C委員】 被災者の方も何人か宿泊されているのか。その方々にも宿泊税は課税されているのか。

【事務局】 被災者の方は、課税免除という取扱いである。

【A委員】 全額行政負担だが、1泊3食10,000円税込みという価格を掲げている。今のところ、当ホテルでは人数50人分提供しており、もう少し増やしてほしいということで、少しでも増やそうと思っているが、延べ1,300泊ぐらいである。支援グループの延べ泊が2,800人である。

【C委員】 受入れとしては金沢市内のホテル室数は足りないぐらいか。それとも、いっぱいか。

【A委員】 2次避難の理解が今ひとつであるため、受け皿はたくさん用意しているが、実際まだ入ってきて、余裕はある。素泊まりや、1泊朝食付のところは被災者からすると1つの不安材料である。1泊朝食付で8,000円、1泊3食付いて、10,000円。我々は地元のホテルとしては最初から1泊3食付でしている。

【C委員】 するとこの税収の見込みは変わる。下振れしそうである。

【事務局】 何とも読めないが、可能性は大きいと思う。

【D委員】 資料1の第3回の検討会議の主な意見の①だが、5,000円未満を低価格帯としてどうか、7億2千万円は確保できるとしている。そのあと、北陸新幹線の延伸もあり宿泊者数の増加が予想され、さらなる税収増が見込める。これのみ書いてあるの

【D委員】(つづき) は、物足りない。説明不足ではないかと感じた。地震の風評被害はどのぐらい続くかということである。今、金沢建築館でいうと、観光客が来なければ、入館者数は減りっぱなしとなる。その上、21世紀美術館が今休館している。そうすると、もう金沢に来る目的が半分ぐらいなくなっている。能登も行けない、21美も見られないとなると、リピーターたちが新しいものを見に行こうとしたとき、行けないということがある。台湾の人たちは、こういう事態があっても予定を変更できないから、1月も2つの団体が21美に行く予定だったところ、金沢建築館に来られたりしている。そういうのを見ると、どう動くか分からないが、金沢建築館で半年は我慢しなければならないだろう。暖かくなって、夏ぐらいから地震の頻発、余震を含めて、そういうこともなくなるだろうというので、地震が来ない期間が3ヶ月ぐらいあると、これで終わりじゃないかなと期待している。新幹線延伸というのは、構造的にプラス要因になることは間違いないが、短期的、事故的に起こるこの能登地震についてこの時点で出す報告書としては、そのような書き方で少し加えておいた方がよいのではないかと思った。これについては、ある程度予測であり分からないが、さらなる収増も見込めると、単純に断定しない方がよい。そういうことを正式にこの会議で決めようとする、この部分の修正をどうするかという提案である。

【座長】 それも含めて報告書案の方で議論できればと思う。

私からも2点。総務常任委員会からの意見、1の④、免税点を5,000円とした場合に、値上げをしようとする場合にできなくなる懸念があるという話、確かにそういうバイアスがかってしまう部分は気になるところである。この辺りも状況をチェックしていかなければならない。

それから2の②のラブホテルの問題で、宿泊税の活用事業である施設改修の補助対象から除外されており、不公平ではないかという話である。私個人としては、皆から徴収したものを、特定の事業者の施設改修に使うというのは、筋としてよろしくないと思っている。移行措置として対応を執らなければいけなかったかもしれないが、5年経ち、使途として見直すところがあれば見直してもよいのではないかと思う。公平性に配慮するなら、個別の施設改修については一律対象から外すか、あるいは、対象として残すなら公平に補助対象とするか。皆から徴収したもののなので、できるだけ全体に利益が及ぶところに活用した方がいいと思う。

(2) 意見交換

【座長】 報告書案が今日、ご議論いただきたいものである。資料3について事務局から説明をお願いする。

【事務局】 [資料3 説明]

【座長】 今ほどの説明に対して、特に報告書案の文面について、意見をいただきたい。

【D委員】 先ほどの地震の話をしたが、本報告書案の7ページに書いてあるのを確認した。そういう意味では、少し余計なこと申し上げて、申し訳ない。

- 【事務局】 　ただ実際、状況を見極めていく必要があるというところまでしか、現状では書けないかと思ひ、このような記載になっている。
- 【座長】 　確かにもう少し踏み込んで良いかと。報告書案では、「状況を見極める」「程度は不透明である」という書き方だが、少なくとも観光に対する影響は懸念されるということ、宿泊者の動向についても変化が想定されるという辺りまで、もう1歩踏み込んで良いと思う。
- 【C委員】 　座長の指摘した使いみちの件に賛成である。ラブホテルは対象外という問題もあるが、自己資金のないところはホテルの改装をしたくてもできない。そのため補助金が受けられない場合も結構ある。その辺は公平性という点でどうかという話だったが、それは報告書のどこに書いてあったか。
- 【事務局】 　使いみちのところの18ページ、②の「使途の周知」のすぐ上に、具体的な事業名挙げてあるわけではないのだが、記載している。
- 【C委員】 　具体的に書きづらい。こんな表現しかないか。
- 【座長】 　事前に委員の方々を回り、ご意見をいただいて、文面を修正したものが上がっているかと思うので、大体ご意見が反映されているのではないかと思う。
- 見直しの時期については、能登半島地震の影響も大きく、どうなっていくか分からない。逆に、先ほどあったように、復興キャンペーンという展開もあるかもしれない。私の知っているところでは、東日本大震災が起こった時に、ちょうど九州新幹線が開業になって、コマーシャルを取り止めたのだが、逆に頑張れ日本といった応援メッセージになってネットで広がり、東日本の観光が減った分、西日本に移動したということもあり、九州では観光客が増えたという結果があった。予想と違うような動きがあるかもしれない、その辺りは分からないので、しっかり状況を見極める必要がある。見直し時期については、この検討会議で結論を出すことは早々である。この辺り金沢市、市議会でも十分検討してご判断いただければと思う。その辺りはしっかりと報告書に書いてあるので、良いのではないかと考えているが、いかがか。
- あと、先ほどの資料2「1税制について」の⑤で、連泊の場合に、宿泊日数に応じて加減する方法をとることができないかという意見が上がっていて、なるほどと思った。確かに連泊されている人、特に観光というより工事などの事情がある人や、観光客の中にも長期間宿泊される人がいて、そういう人に対しては宿泊税が累積していくため、負担になる。これについては、今回この会議で検討する時間がなかった。⑤（連泊の場合に、宿泊日数に応じて加減する方法）をもしするならば、免税点の導入とどちらかにした方が良いのか、両方やるのか、ということもあるが、今回は保留にして、様子を見ながらまた見直し時期が来たときに検討できればと思う。今回は保留ということによろしいか。
- では、能登半島地震の影響について若干文言を見直して、その他はこのような形で取りまとめて市長に報告することとしたい。また内容の修正については、座長にご一任いただければと思う。それによろしいか。

【座 長】(つづき) ではこのような内容で修正し、修正した内容については、改めて皆様にお送りして確認をお願いしたいと思うので、よろしく願いしたい。
事務局から何か補足などあるか。

【事務局】 座長におまとめいただいたので、そのとおり進めたい。

【座 長】 この間、議事運営にご尽力いただき、ご協力をいただきどうもありがとうございました。これにて、進行は終了させていただく。

3 閉会